



病後児保育だより

聖隷こども園わかば

2024年1月号

あけましておめでとうございます。

新しい年が明けて、ますます寒さが厳しくなってきましたね。昨年はインフルエンザが流行りましたが、溶連菌感染症なども例年より多かった気がします。また、嘔吐下痢などのウイルスも活発な季節ですのでまだまだ油断できません。水の冷たい季節ですが、感染予防のために石鹸で手洗いをしましょう。マスクのできる年齢のお子さんは人混みではマスクをつけるなど、体調管理に気を付けて、今年一年元気に過ごすことができるといいですね。

よくある質問お答えします



Q 嘔吐・下痢の場合、どれくらいだったら利用できるの？

A 病後児保育室を利用するためには医師の診察を受けて「回復期」だと診断されれば利用可能です。水様便が頻回に出ていたり、何回も嘔吐しているうちは回復期だとはいいにくいですね。「普通の便に戻ってから登園してください。」という園も多いので軟便が続いているような時のご利用をお勧めします。嘔吐・下痢のお子さんが病後児保育室を利用する時は、食事形態を確認させてもらっています。



アデノウイルス感染症

熱が出て医療機関に受診した時に「アデノウイルスですね」と言われたことはありませんか。今月はアデノウイルスについてお話します。アデノウイルスはいわゆる「かぜ」の一種で51種類の型があり、ウイルスによって感染しやすい部位があり、症状も違ってきます。また、型の数が多いので免疫ができにくく、繰り返しかかることもあります。

プール熱 (咽頭結膜熱)	38℃以上の高熱が4～5日程度続いたり、のどの痛みを伴います。眼の充血、目やになど目の症状も出ます。感染力が強く、登園停止の病気です。	
はやり目 (流行性角結膜炎)	目の充血や目やに、涙目、まぶたの腫れなどの症状が見られたら眼科を受診しましょう。感染力が強いため、登園停止の病気です。	
呼吸器感染症	発熱、咳やのどの痛みなどの症状が特徴的です。熱が3～5日間と長く続きます。肺炎や扁桃炎になることもあります。	
胃腸炎	症状は腹痛、嘔吐下痢など。排便されたうんちにウイルスが潜んでいるので、おむつを替えた後は手を洗いましょう。	
出血性膀胱炎	おしっこが近くなったり、排尿時に痛みを感じたり、血尿が出る場合があります。痛みなどは2～3日でよくなりますが、血尿は1～2週間続くこともあります。	

<気をつけること>

- ・感染力が強いため、タオルなどの共用はやめましょう。
- ・胃腸炎だけでなく、プール熱などで治った後も約2週間位は便中にウイルスが出ているため、気をつけましょう。おむつ交換後は石鹸で手を洗いましょう。



病後児保育についてのご質問などは、聖隷こども園わかば tel 053-437-0822 まで